



日本体育・スポーツ経営学会 第62回研究集会

地方都市の持続可能性を高めるスポーツ経営 ～SDGsとスポーツ～

開催趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック(TOKYO2020)の開催を1年後に控え、慌ただしい空気がメディアを通して漂ってきている。しかし、地方の都市および地域生活圏においては直接的な恩恵を期待することはできず、むしろレガシーを含めた間接的な効果を大きくし、2020年以後の都市・地域経営の持続可能性を高めるべく動き出しているところである。地方都市は、大都市圏への人口流出と貨幣流出の克服に走り続けている。一方、地方創生政策は都市間競争の枠組みで展開されていて、もはや目をつぶって全力疾走するほかない都市経営環境に置かれていると言える。しかし、これまでのオリンピックがそうであったように、日本の経済はTOKYO2020後により一層厳しい局面へ移行するだろう。疲弊した地方都市をさらに追い詰めることになるかもしれないが、このような未来が来ると分かっている手をこまねていることはできない。地方都市の持続可能性を高めるために、スポーツ経営は何ができるだろう。

SDGsが国際的な共通目標になっている。特に、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール8「持続可能な経済成長」、ゴール11「住み続けたい都市づくり」、ゴール17「パートナーシップによる課題解決」といったゴールは、都市におけるスポーツとの関わりが認識できる。

スポーツ文化の諸価値を最大化するスポーツ経営は、地方都市の持続可能性をどのように引き受け、スポーツ事業に落とし込めばいいだろうか。この研究集会では、岡山や自地域の持続可能性を考えながらスポーツ事業を展開している当事者によるディスカッションを通して、地方都市の持続可能性を高めるスポーツ経営のあり方を考えたい。



2019年8月31日(土)
13:20～16:45 (13:00受付開始)



岡山国際交流センター
地下1階レセプションホール



会員・一般 2,000円
学生(会員含む) 1,000円



参加申込 第62回研究集会実行委員会事務局(担当:高岡)
E-mail takaoka@okayama-u.ac.jp TEL 086(251)7664
記載事項 ①氏名 ②所属 ③会員種別(会員/非会員/学生) ④連絡先



<講演> 13:30～15:00
テーマ 「SDGs経営の最前線」
講演者 青尾 謙 氏(岡山大学 副理事)

<パネルディスカッション> 15:10～16:45
テーマ 「SDGs志向の地方都市のスポーツ経営のあり方」
登壇者

- ・地域の持続可能性を考える地域スポーツクラブ 三宅 厚自 氏(きよねスポーツくらぶ 理事)
- ・都市の持続可能性を考えるスポーツ行政 吉田 武生 氏(岡山市スポーツ誘致推進室 室長)
- ・地域の持続可能性を考えるプロ・スポーツクラブ 北川 真也 氏(ファジアーノ岡山 代表取締役社長)

指定討論者:青尾 謙 氏(岡山大学 副理事) コーディネーター:高岡 敦史 氏(岡山大学 准教授)

<お問い合わせ先> 実行委員長 高岡敦史(岡山大学) takaoka@okayama-u.ac.jp 086-251-7664
主催 日本体育・スポーツ経営学会 共催 岡山大学(打診中)